

» 国際協同組合デー

「協同組合を考える集いに参加」

7月2日は国際協同組合デー、全世界の協同組合員が心を一つにして協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために運動の前進を誓いあう日で、毎年7月の第1土曜日と定めている。岐阜県では、7月1日に岐阜市のホテルパークにおいて、「協同組合を考える集い」が開催された。参加団体は、JA岐阜関係団体および岐阜生協連と労福協、労金、全労済で、参加者は120名でした。



集会は、岐阜大学の荒井教授から「岐阜県協同組合間提携活動の歩み」について報告があり、続いて参加団体の職員5名から事例発表があり、全労済岐阜本部から轟幸太郎さんが熊本地震の審査支援・協同組合の役割等について報告された。休憩を挟み、関西大学講師の中桐万里子氏が「二宮金次郎からのメッセージ」をテーマに講演が行なわれた。

第7回
消費者ネットワーク岐阜
総会開催

5月12日(土)に消費者ネットワーク岐阜総会を開催した。岐阜労福協井端事務局長が議長に選出され、2015年度活動報告および2016年事業計画が承認され総会が無事終了した。

総会後、「その表示大丈夫?景品表示法のイロハ」について公正取引委員会中部事務所取引課長光井徳子氏による記念講演が行われ最近の景品表示法違反事例について講演があった。若人を中心に多数の参加があった。

暮らしの
なんでも
相談所

職場の人間関係がうまくいかない、借金で生活が苦しい、親の介護に疲れた、障害のある子供の将来が心配など
ひとりで悩まないで、まずは一度お電話ください。

●ライフサポートセンター岐阜 ●飛騨勤労者サポートセンター
☎058-214-7300 ☎0577-57-8002



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田勝之

vol. 108

2016.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410【岐阜労福協機関紙】連合岐阜・東海労働金庫・全労済・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

第62回定期総会を開催!

連帯・協同で安心・共生の
福祉社会の実現に向けて!

高田会長

2016年5月26日ワークプラザ岐阜5F大ホール
において第62回定期総会を開催しました。

最初に司会者より熊本地震においてお亡くなりになられた方に対し默祷、被災者に対し哀悼の意を表しました。総会は定数60名に対し出席者は55名、委任状5通で司会者より大会成立が宣言されました。

議長に石原常任幹事を選出し、高田会長より挨拶があり、熊本地震に対する被災者支援、中央労福協との共同で取り組んだ奨学金問題の報告、事業団体への取組強化など述べられました。

来賓として岐阜県の浜崎労働雇用課長・連合岐阜舟口会長・事業団体を代表して全労済豊田本部長から祝辞を受けました。

議案審議は井端事務局長から2015年度活動報告・2016年度活動方針案および予算案が提案され全会一致で承認されました。

午後からは小林康二氏の記念講演を行い、約50名の参加がありました。



石原常任幹事(議長) 岐阜県 浜崎課長



岐阜県 浜崎課長



連合 舟口会長 全労済 豊田本部長 井端事務局長



岐阜労福協記念講演会開催!

2016年6月26日岐阜労福協定期総会終了後、岐阜労福協主催の記念講演会を開催した。

講演は笑工房主宰の小林康二氏に「笑って学ぼう平和憲法」をテーマに現行の平和憲法の解説と重要性については笑いを交え、政府が考える憲法改正案についても条文を踏まえながらの内容で、憲法改正論議が話題になる中、考えさせられる講演であった。

熊本地震義援金を熊本労福協へ寄付



7月12日～13日東京で開催された地方労福協議会において、岐阜労福協としてメーデー等で協力いただいた熊本地震義援金50,676円を熊本労福協、末長専務理事へ井端事務局長から手渡した。また中部労福協としても150,000円の義援金を同じく熊本労福協へ進呈した。

末長専務理事からは、義援金のお礼と余震が続く中、復興までには当分時間がかかりそうとの報告を受けた。

中濃支部定期総会

労福協中濃支部は、2016年6月3日(金)可児市「KYB労働組合研修センター」において平成28年度定期総会を開催した。村瀬支部長による挨拶の後、来賓祝辞では県労福協、高田会長の挨拶を受け、議事では、平成27年度総括、平成28年度活動方針、平成28年度役員の承認等の諸議案を審議し、満場一致で承認された。

活動方針では、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、労働福祉事業団体の連携強化と利用促進、文化・体育活動の充実へ引き続き取り組みつつ、各事業団体の基盤強化と勤労者の生涯福祉の充実に向け、支部体制のさらなる強化、会員間・事業団体との連帯を深める活動を行っていくことを確認した。

飛騨支部定期総会

飛騨支部定期総会を6月15日「ろうかん」に於いて、谷井副支部長を議長に選任し開会した。

まず小井戸支部長より2015年度活動のお礼および新年度に向け一層の支部事業への参加協力要請の挨拶があり、また来賓として県労福協井端事務局長より激励のご祝辞を受けた。

議事として第1号議案活動総括から第6号議案役員補充報告まで満場一致で承認された。

とりわけ活動方針では、市町村の支援事業である「なんでも相談会」「飛騨勤労者サポートセンター」の相談業務の充実および文化体育活動等を通じた支部活動による運動推進強化を確認した。

土岐支部定期総会

労福協土岐支部の2016年度第62回定期総会は、6月13日(月)土岐市の「セラトピア土岐」において開催した。冒頭、佐々木支部長が挨拶したのち、来賓の高田会長より県労福協の勤労者福祉活動について挨拶を受けた。

その後2015年度の活動総括と2016年度の活動方針および支部規約の一部変更等の諸議案を審議し、満場一致で承認された。2016年度の新役員体制は、新たに加藤寛二支部長(TYK労組)を選出・承認され、引き続き支部地域の福祉向上にむけて、労働福祉事業団体との連携も密に図りながら、精力的に展開していくことを全員で確認し盛会裡に終了した。

西濃支部定期総会

6月16日サンワークにおいて第55回西濃支部総会が開催された。冒頭の堀支部長が前年度の総括と今後の方針を合わせて、各地で発生している災害において地域の連携が必要となっており、労福協活動は重要なになってくる。東日本大震災、熊本地震を忘ることなく、対応していきたいとあいさつ。続いて県労福協を代表して高田会長より祝辞をいただいた。

その後、報告事項として27年度事業報告、決算報告を行い、全員一致で承認し、議案として28年度事業計画、予算案を全員一致で可決した。なお会費の取り扱いについて、予算が厳しくなる状況下、金額の見直しについて意見が出され、今年度値上げについて検討することとなった。

各支部・事業団体で総会を開催**中恵支部定期総会**

労福協中恵支部の2016年度定期総会は、6月20日に東海労働金庫中津川支店・会議室に於いて開催した。来賓として岐阜県労福協高田会長、中津川市大山副市長、全労済岐阜県本部東濃支所から支所長代理伊藤様、顧問議員団からご挨拶を頂いた。

総会では、2015年度の総括と2016年度の方針・活動計画・予算・役員改選を審議し満場一致で承認され、労働組合や事業団体(労金・全労済)が労働者の暮らしを守る中心組織として「人と暮らし、環境にやさしい福祉社会の実現」に向けて活動することを確認した。

東海労金通常総会

東海労働金庫の第16回通常総会は、6月24日(金)に名古屋市の「ウインクあいち」において開催された。愛知・岐阜・三重各県から多数の代議員が出席し、来賓として各自治体・労働団体・事業団体の出席の中、3県労福協を代表し高田会長が挨拶された。

度会理事長の挨拶された後16期余剰金処分案と平成28年度事業計画及び27年度報告・28年度収支計画案が提案され、全議案が承認された。

また、役員一部補充議案により理事2名および監事3名の補充が提案され承認された。

岐阜支部定期総会

第54回定期総会は、6月21日「ワークプラザ岐阜」において、県労福協の高田会長を招いて開催された。

2015年度の活動総括と2016年度の方針・活動計画・予算について満場一致で承認された。活動の基本として①会員拡大と体制の充実、②会員及びその家族の交流を深める文化・体育活動の充実、③勤労者の福祉向上の実現、④地域福祉向上の実現、⑤働く人たちの生活を豊かにする活動、⑥社会貢献活動及び教育活動の推進について確認された。

岐阜労済総代会、全労済岐阜県本部代表者会議

岐阜県労働者共済生活協同組合第58回通常総代会および全労済岐阜県本部第7回代表者会議が県下各地より149名の多くの総代・組合員代表者が出席して開催された。

豊田県本部長の挨拶に続き、鈴木専務より2015年度事業報告・決算報告と2016年度事業計画・予算案が提案され全員一致で承認された。

また、任期途中の一部役員辞任に伴い役員補欠選挙により理事2名・監事2名の選任も承認された。